



# 高校野球のマナーとルールを学ぼう (第94回)



一般財団法人兵庫県高等学校野球連盟

グラウンドでの試合を振り返り、高校野球の大切なマナーとルールを学びましょう。  
あなたの「なぜ? どうして?」にわかりやすくお答えします。

## 2018年まとめ ② 投手編 「反則投球」「ボーク」「禁止事項」

本県では、「**投手の正しい動作/投球と送球**」に取り組んでいます。今年度は、その成果もあって、「**投球動作を途中で止める**」「セットポジションからの投球時に完全に静止しない」などの事例は減少してきました。また、「ボールを保持した投手が直ちに投手板を踏んで投球位置につく」ことも浸透してきました。**野球は投手の打者への正しい投球から始まる**ことから、今後も継続した取り組みが重要です。

その一方で、「ボーク」「ボールの交換」の課題にも注力していかなければなりません。よく耳にするのがチーム側からの「**ボークを取られた**」という言葉です。ここで大切なことは、高校野球では、当該投手と対戦するのは概ね1回限り(一期一会)ですから、**公認野球規則の厳格な適用が重要との認識に立った指導**が不可欠です。そこで、今回は「ボークルール」の目的と13項目の「禁止事項」を紹介し、来年度はグラウンドで「ボーク」の声がなくなるようにこの冬にお互い勉強しましょう。

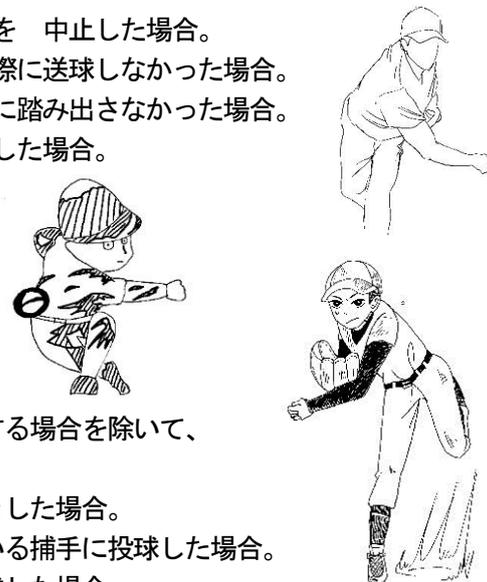
●ボークルールに関しては原注もあり、次のとおり定められています。

【6.02a 原注】ボークルールの目的は、**投手が走者を意図的に騙そうとするのを防ぐ**ためであることを、審判員は心に銘記しなくてはならない。もし審判員の判断で投手の「意図」に疑いを抱いたら、審判員は厳重に規則を適用すべきである。



●【公認野球規則 6.02(a)】では、「塁に走者がいるときは、次の場合(筆者付言: 以下の13項目)ボークとなる。」とあります。

- (1) 投手板に触れている投手が、投球に関連する動作を起こしながら、投球を中止した場合。
- (2) 投手板に触れている投手が、一塁または三塁に送球する真似だけして実際に送球しなかった場合。
- (3) 投手板に触れている投手が、塁に送球する前に、足を直接その塁の方向に踏み出さなかった場合。
- (4) 投手板に触れている投手が走者のいない塁へ送球したり送球する真似をした場合。
- (5) 投手が反則投球をした場合。
- (6) 投手が打者に正対しないうちに投球した場合。
- (7) 投手が投手板に触れないで投球に関連する動作をした場合。
- (8) 投手が不必要に試合を遅延させた場合。
- (9) 投手がボールを持たないで、投手板に立つか、これをまたいで立つか、あるいは投手板を離れていて投球するまねをした場合。
- (10) 投手が正規の投球姿勢をとった後、実際に投球する、または塁に送球する場合を除いて、ボールから一方の手を離した場合。
- (11) 投手板に触れている投手が故意であろうと偶然であろうとボールを落とした場合。
- (12) 故意四球が企図されたときに、投手がキャッチャースボックスの外にいる捕手に投球した場合。
- (13) 投手がセットポジションから投球するに際して完全に静止しないで投球した場合。



ボークが宣告された場合、ペナルティとして各走者に1つの安全進塁権が与えられ、また、ボークを宣告された投球を打者が打った時にはそのままプレイは継続されますが、打者及び各走者の全員が一つの進塁を得なかった場合にはペナルティが適用され、各走者は一つの安全進塁権を得、打者は打ち直しができるということになります。守備側チームにとっては、失点にも繋がる厳しいルールがあるということも理解し、ボークが宣告される13項目をしっかりと理解し、正しい投球・送球・所作の習得に努めていきましょう。

イラスト協力: 兵庫県立姫路工業高等学校デザイン科

上から 高井 杏珠 さん(2年) 榎 大和 さん(2年) 松下 大地 さん(2年) 大澤 渚 さん(2年)